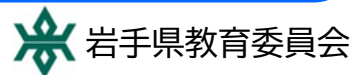


# 令和7年度入学者選抜（令和5年度の中学2年生が対象）から 岩手県立高等学校の入試制度が変わります。



## 今回の入試制度改善の趣旨

- ◆ 生徒の自主的・自発的な部活動や多様な活動の状況、少子化に伴う志願倍率の低下等に対応すること
- ◆ 生徒一人ひとりの適切な高校選択、各高校の魅力化や特色化を一層進めること

## 現行の入試制度からの主な改善の内容

### 入試日程：3月上旬の2日間での実施に変更

- 現行制度では、1月下旬に推薦入試の検査、3月上旬に一般入試の検査を実施していますが、一般入試と特色入試（下記参照）の検査を3月上旬の2日間であわせて実施します。
- 名称は「一次募集（一般入学者選抜、特色入学者選抜）」として、出願、合否判定、合格者発表についてもあわせて実施します。

### 推薦入試：「特色入学者選抜」（特色入試）に変更 左下表参照

- 出願にあたって中学校長の推薦を不要とし、名称を「特色入学者選抜」（特色入試）とします。
- 特色入試では、部活動等の実績（大会の成績）を出願の要件とせず、生徒が、志願先高校の求める生徒像等を参考にして出願することとします。
- 選抜にあたって、実績を評価するのではなく、受検生が日常的な学習や活動で身につけた多様な資質・能力について、検査を実施して評価します。

### 一般入試：選抜方法の見直し 右下表参照

- 「学力検査：調査書等」の比率について、各高校が決定することとします。
- 面接は一律に実施することとはせず、各高校が必要に応じて実施することとします。これに伴って、配点を変更します。

## 新しい入試制度の概要

### 特色入学者選抜

検査内容は、各高校の「入学者受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて決定し、実施する。

募集定員	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通科及び普通・理数科は定員の10%以内（体育、芸術に関する学系は50%以内）</li> <li>上記以外の学科は定員の20%以内</li> </ul>
検査内容	調査書、志願理由書、検査（面接、小論文、作文、実技、口頭試問、プレゼンテーション等の中から1～2項目） ※ 志願者が多い場合は、提出書類により一次選考を実施することがある。

### 一般入学者選抜

検査内容は、各高校の判断により学校独自検査を実施できる。

募集定員	定員から特色入学者選抜の合格者を減じた数		
検査内容・配点	学力検査（国語、数学、社会、英語、理科の5教科各100点満点）	500	1000
	調査書（中学1～3年の9教科の評定）	500	
	学校独自検査（実施する場合は、面接、小論文、作文、実技の中から1～2項目）	0～100	
※ 満点は、高校・学科等によって異なる。			
選抜方法	「学力検査500点：調査書500点」の比率について、各高校が、「7：3」、「6：4」、「5：5」、「4：6」、「3：7」の中から1つ選択して選抜。		

### 2月上旬 出願

1枚の願書で一般入試と特色入試に出願、特色入試に出願する場合は志願理由書も提出。

2月中旬に志願先の変更可（出願調整）

特色入試は一般入試の第1志望の高校・学科等にのみ出願可。特色入試のみの出願は不可。

### 3月上旬 検査 (2日間)

1日目：一般入試の学力検査

※ 高校・学科等によっては、1日目の学力検査終了後に、一般入試の学校独自検査、特色入試の検査を実施。

2日目：一般入試の学校独自検査、特色入試の検査

特色入試にも出願した場合、2日間の検査（一般入試、特色入試）をすべて受検。

### 3月中旬 合格者発表

特色入試、一般入試の順に選抜を実施。

一般入試と特色入試の合格者をあわせて受検番号で発表。

# 新しい入試制度に関するQ&A

## Q 入試制度を見直すのはなぜですか？

A 表面の「今回の入試制度改善の趣旨」のとおりです。県教育委員会では令和3年7月に「県立高校入試改善検討委員会」を設置し、令和4年9月に委員会から提言を受けました。今回の改善は、この提言の趣旨を踏まえて行うものです。

## Q 一般入試で調査書点が440点から500点になりますが、その内訳はどうなりますか？

A 現行の一般入試では、評定がすべて「5」の場合、表のように合計が660点になるように換算し、合計660点を圧縮して、440点にしています。

教科名	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技・家	小計	合計
1年	10	10	10	10	10	15	15	15	15	110	660
2年	20	20	20	20	20	30	30	30	30	220	
3年	30	30	30	30	30	45	45	45	45	330	

新しい制度でも、現行制度と同様に合計が660点になるように換算し、合計660点を500点に圧縮します。各学年間、各教科間の比重について、現行制度からの変更はありません。

## Q これまでの推薦入試で評価されていた部活動等の実績（大会の成績）は、評価されなくなるのですか？

A 直接点数化することはありません。実績を評価するのではなく、具体的にどのような活動を行ってきたかを参考にし、その活動をとおして身につけた資質・能力等を、検査を通じて評価します。

## Q 特色入試を受けるために、どのような準備をしたらよいですか？

A 日常的に取り組んでいる学習や活動で身につけたことを評価するものですので、これまでどおり、中学校での学習等や学校外の活動に取り組んでください。その上で、取り組んだ学習や活動でどのようなことが身についたか、それを高校入学後の生活でどのように活かしていきたいか表現できるようにしてください。

## Q 通学区域の取扱いはどうなりますか？

A これまでと変更ありません。

## Q 各高校の一般入試や特色入試の内容を知るには、どうすればいいですか？

A 各高校・学科等の一般入試や特色入試の内容等について、令和5年9月に「令和7年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要（案）」を公表します。内容は次のとおりです。

### 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

**一般入試** 募集定員、「学力検査：調査書」の比率、学校独自検査（実施の有無、内容、評価の観点、観点ごとの配点）等

**特色入試** 実施の有無、求める生徒像、募集定員、検査（内容、評価の観点、観点ごとの配点）、選抜方法等

## Q 新しい入試制度について、もっと詳しく知るためには、どうすればいいですか？

A 岩手県のHPでは、より詳しい内容の資料等を掲載していますので、見てください。

岩手 高校入試

検索

HP掲載資料：「令和7年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜について」

「令和7年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜実施要項（概要版）」

「令和7年度岩手県立高等学校入学者選抜実施概要（案）」（令和5年9月公表予定）

また、令和6年度に行われる各高校の学校説明会等に参加してみてください。

なお、各県立高校では「note」により学校の魅力や生徒の活動等について情報発信していますので、入学後の高校生活の参考に見てください。

岩手県教育委員会のnote(→)



新しい入試制度に関するHPIはこちら(↓)



### 【岩手県立高校の入試制度に関する問合せ先】

岩手県教育委員会事務局学校教育室 高校教育担当

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 電話：019-629-6141 FAX：019-629-6144